

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）マスコットについて

アスリートたちの心に宿る熱い想いが「炎」となり愛知・名古屋の守り神であるシャチホコとひとつになって誕生しました。

愛知・名古屋は、歴史的にも文武芸に秀でた傾奇者（“かぶき”もの）を生み出してきた地です。ここから着想を得て、目の周りには歌舞伎（“かぶき”）のような赤い隈取りがあしらわれています。

「ホノホン」という名前は、炎の語源とされる「火の穂（ほのほ）」、これは火が高く立ち上がりメラメラと燃える様子が穂（稻穂の“穂”）のようだからというところから来ていますが、そこから親しみやすさも込めて「ホノホン」と名付けました。



名 前：ホノホン / HONOHON

年 齢：生まれたばかり

性 別：なし

生まれた場所：アスリートたちの心の中

チャームポイント

大きな目：アジア中のアスリートたちの活躍をいつでも見守ることができる

シャチホコ：アジア中の子どもたちの笑い声やアスリートへの声援を聴き取るような耳 ることができる

特 技：言葉は話せないが、自分がイメージできた「音」をまるで魔法のように鳴らせる

弱 点：頑張りすぎるとすぐに眠くなる

性 格：いろんなことに興味津々で、何にでも一生懸命

好きなこと：スポーツをすること

好 き な 色：赤色

好 き な 言 葉：IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。

目 標：大会本番までにアジア競技大会の全種目を覚えること

使 命：愛知・名古屋 2026 大会を通じて、人々が“ここで、ひとつに。”なる

アジア競技大会マスコットデビューイベントについて

1 日 時 2024年7月14日（日） 11時00分～11時30分

2 場 所 K I T T E名古屋 1Fアトリウム
(名古屋市中村区名駅1-1-1)

3 登壇者 組織委員会会長 大村 秀章（愛知県知事）
組織委員会会長代行 河村 たかし（名古屋市長）
マスコット選定委員 粟原 三佳さん（元日本代表女子バスケットボール選手）
児童5名（エスコートキッズとして一般公募）

4 ゲスト お笑いトリオ「パンサー」 向井 慧さん（吉本興業）

5 デビューイベントの様子

